

令和7年度 第7回美里地域会議 会議録

日 時：令和7年10月9日（木）19時～20時00分

場 所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 健一、
小林 忠雄、清水 幸男、鈴木 智映子、豊田 博久、
中島 康隆、野村 耕一、濱野 敏子、松村 洋、
望月 英光、森口 美代子、山本 由和、吉本 勝、
佐藤 弘、柘植 英司

（欠席）丸石 敏憲

＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、河野主査

＜（株）サーベイリサーチセンター＞杉田 純一、佐藤 花純

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 高齢者実態調査 アンケート回答数報告

令和7年9月に実施したアンケート調査について、最終的な回答数が1,131件であったことを報告。調査対象者数は1,415人であり、回答率は約8割であった。現在、サーベイリサーチセンターにて集計および分析作業を進めており、次回（11月）の地域会議にて分析結果を委員に報告する予定であることを説明した。

4 高齢者実態調査 ヒアリング日程等報告

令和7年11月～12月に実施予定のヒアリング調査について、調査団体へ送付した案内文および参加希望調査票の内容、ヒアリング実施日を委員に説明した。また 前回（9月）の地域会議でヒアリング調査への参加希望を委員に確認したが、実施日が未定であったため回答が難しいとの意見が複数あった。今回、実施日がほぼ確定したことから、改めて参加希望調査を実施した。なお、実施日は団体側の都合により変更となる可能性があること、事務局が各委員の参加日を調整し、次回の地域会議で報告する旨を説明した。

5 高齢者実態調査 ヒアリング事前質問検討

ヒアリング調査において、当日の話し合いの時間をできるだけ確保するため、参加者には事前質問票を送付する予定である。質問票の内容についてはサーベイリサーチセンターと協議を行い、質問数は3問程度とし、アンケート調査の分析結果を基にした質問を中心に構成する予定であることを説明した。質問の詳細は、次回の地域会議で分析結果の報告を受けたうえで確定する。今回の会議では、事前質問の構成（質問数など）が資料のとおりでよいかを確認し、委員からは概ね了承を得た。

【意見】ヒアリング当日の流れや司会進行の役割を確認したい。

（事務局）司会進行および議事録作成はサーベイリサーチセンターが担当する。当日は、まず参加者にアンケート調査の分析結果を簡単に説明し、その後、事前質問の回答を共有し、参加者同士で意見交換を行う予定。流れが確定次第、参加予定の委員には次第等の資料を提供し、事前に説明する。

【意見】事前質問票は事前に提出し、事務局で取りまとめるのか。

（事務局）事前質問票は、ヒアリング当日に参加者が記入し持参する形式とする。事務局での事前集計は行わない。主な目的は、当日話す内容を事前に整理しても

らうことにある。これにより、当日の話し合いの時間を有効に活用できると考えている。また、ヒアリング終了後に質問票を回収することで、発言できなかった内容も把握できると考えている。

【意見】ヒアリングに参加する地域会議委員の立場を教えてほしい。

(事務局) 委員には、参加者の意見を傍聴し、住民の生の声を聴いていただきたい。発言を禁止するものではないが、基本的には傍聴の立場である。当日聴いた内容は、後日の地域会議で参加者以外の委員にも共有し、事務局の解釈とすり合わせながら、課題の把握に活かす予定である。

【意見】ヒアリングはあくまで「聴く」場であり、委員は住民の声を持ち帰ることが目的だと考える。

【意見】各回に多数の委員が参加することになるのか。

(事務局) 委員の参加人数に上限は設けていないが、人数が多すぎる場合は調整を行う可能性がある。

6 美里ふれあいフェスタ 展示内容共有

令和 7 年 11 月 2 日（日）開催予定の「美里ふれあいフェスタ」について、前回の地域会議で決定したとおり、高橋支所として美里地域会議の PR 展示を行う。展示資料、来場者アンケート、参加賞について委員に説明した。展示資料には、地域会議の概要および令和 7 年 1 月 18 日（日）実施予定の高齢者実態調査 意見交換会のチラシを掲載する予定。

【意見】地域会議の PR が目的であれば、高齢者実態調査よりも、公園事業など過去の取り組みを紹介すべきではないか。

(事務局) 過去の取り組みについては、支所だより等の資料が残っているため、それらを活用し、活動内容が分かる展示を検討する。

【意見】意見交換会のチラシについて、会場（高橋コミュニティセンター2 階大会議室）の規模に対して参加者 50 人では少なく感じる。もっと増やせないか。

(事務局) 意見交換会はグループ形式で実施する予定であり、参加人数については以前の地域会議で協議のうえ決定し、その内容でサーベイリサーチセンターと契約済みである。また、当日に同センターから派遣されるファシリテーターの人数も決まっているため、参加人数は 50 人で進めたい。ただし、意見交換の参加者以外にも、傍聴としての参加は可能である。

【意見】傍聴が可能である旨をチラシに明記すべき。また、参加申込については Google フォーム等の Web 申込を活用すればよりスムーズではないか。

(事務局) 市が独自に Google フォーム等を作成するのは制限があり難しい可能性がある。委託業者との契約内容を確認しつつ、可能な範囲で検討する。傍聴可能である旨はチラシに追記予定。

7 地域自治システム アンケート結果共有

先日、委員にご回答いただいた地域自治システムに関するアンケートについて、美里地域会議委員の回答を取りまとめた資料を配布した。事務局としては、いただいたご意見を今後の地域会議運営の参考とする。

8 事務連絡

(1) 美里ふれあいフェスタ PR 展示へのご協力をお願い

当日実施する来場者アンケートについて、特に来場者が多い午前中（10 時～12 時）にご協力いただける方を 2 名募集したところ、小林健一委員と望月委員にご協力いただけることとなった。後日、支所より改めて依頼文書を送付する予定である。

（2）支所だよりの配布

高橋支所発行の「支所だより」について、10 月 8 日（水）の美里区長会にて、自治区全戸配布の依頼を行った。後日、委員の自宅にも配布されるが、地域会議に関する情報が掲載されているため、会議の場で先行して配布した。

（3）第 8 回美里地域会議について

- ・日時 令和 7 年 1 1 月 1 3 日（木） 1 9 時～
- ・場所 美里交流館 多目的ホール
- ・内容 ヒアリング事前質問内容確定、ヒアリング参加委員調整